

平成 29 年度 第 1 回理事会議事録

日 時：平成 29 年 4 月 21 日(金)19:30～

場 所：長崎大学医学部保健学科

出席者：中野，平瀬，片岡，坂本，濱本，渋谷，濱上，本田，田中陽，大賀，井上，山下，相良，
吉野

欠席者：池山，沖田，池田，松本，原田，田中貴，川副，古川，俵，松尾，大石，中村，石井，城谷，
矢野，原，小路永，松崎，

議 題：

1. 平成 28 年度総会報告

日 時：平成 29 年 3 月 4 日（土）14:10～14:30

場 所：長崎大学医学部保健学科

総会役員：議 長 吉川 和代（医短 12 期）

副議長 清水 章宏（医短 17 期）

書 記 徳永 通子（保 4 期）、百合野 大輝（保 11 期）

議事録署名人 福島 卓矢（保 5 期）

1) 定数確認

出席者 33 名、委任状 301 名、計 334 名の出席が得られ、全会員総数 635 名の過半数を超えており、
会則 18 条により総会の開催は成立した。

2) 議長団の選出

議長団の立候補ならびに推薦はなく執行部に一任され、上記の総会役員が選出された。

3) 平成 28 年度事業報告

事務局(局長：片岡 英樹)：

会員動向の把握(正会員 561 名、準会員 74 名、合計 635 名)

理事会の開催：

第 1 回(平成 28 年 5 月 13 日)：総会報告、平成 28 年度事業計画等について

第 2 回(平成 28 年 10 月 3 日)：前期事業報告、後期事業計画、卒後セミナー等について

第 3 回(平成 29 年 2 月 10 日)：後期事業報告、平成 29 年度事業計画について

総会の開催：平成 29 年 3 月 4 日（土）

保健学科 15 期生・院生 11 期生への入会案内及びパンフレットの作成

その他：セミナー等案内発送作業(平成 28 年 12 月 20 日)、監査(平成 29 年 3 月 1 日)、総会
準備(平成 29 年 3 月 3 日) 等

学術部(部長：坂本 淳哉)：平成 28 年度卒後セミナーの開催（平成 29 年 3 月 4 日）

厚生部(部長：濱上 陽平)：平成 28 年度卒後セミナー後の懇親会の開催（平成 29 年 3 月 4 日）

広報部(部長：石井 瞬)：

①同門会ニュース第 20 号発行

②同門会ホームページ(<http://www.doumonkai.org>)の管理・運営及びコンテンツ更新等

* 部長欠席のため、事務局が代理で報告

機関誌編集部(部長：本田 祐一郎)：

上記の報告について特に異論なく承認された。

4) 平成 28 年度会計報告 (会計：渋谷 美帆子)

一般会計：収入については、同門会費の納入 (保健学科 15 期生 18 名、その他 3 名) とメディカルオンラインからの入金があったことが報告された。今後、収入として卒後セミナー参加費、支出として印刷代や通信運搬費、講師謝金があり予算に近似してくることが報告された。

特別会計：本年度の収入としては預金利息のみであったこと、支出としては、熊本地震の義援金 (300,540 円) を送ったことが報告された。

上記の一般会計・特別会計の報告について特に異論なく承認された。

5) 監査報告 (監事：川副 巧成)

監査は平成 29 年 3 月 1 日、午後 7 時より長崎記念病院リハビリテーション部において会長、事務局長、会計、監事 1 名 (川副 巧成) の出席により開催した。

監査方法：帳票ならびに関係書類を閲覧し、計算書類の正確性を確認した。

各種帳票より業務執行の妥当性を確認した。

監査結果：帳票その他は正しく整備されており、計算書類は会の収支状況および財産状態を正しく示しているものと認められた。業務執行状況は適切と認められた。

その他：経年、会員数の増加に伴う印刷費や通信運搬費の増加が懸念される。一方、年一回のセミナーは重要な収入源となっていることから、参加者の増加が得られるよう、興味深い企画立案を行ってほしい。

平成 29 年度事業計画

事務局(局長：片岡 英樹)：

会員動向の把握

理事会・総会の開催

保健学科 16 期生・院生 12 期生への入会案内及びパンフレットの作成

その他：セミナー等案内発送作業、監査

学術部(部長：坂本 淳哉)：長崎大学理学療法学会同門会 20 周年記念特別企画の開催

厚生部(部長：濱上 陽平)：長崎大学理学療法学会同門会 20 周年記念パーティーの開催

保健学科 16 期生への入学記念品の贈呈

広報部(部長：石井 瞬)：

①同門会ニュース第 21 号発行

②同門会ホームページ(<http://www.doumonkai.org>)の管理・運営及びコンテンツ更新等

* 部長欠席のため、事務局が代理で報告

機関誌編集部(部長：本田 祐一郎)：理学療法探求第 20 巻発行

上記の報告について特に異論なく承認された。

平成 29 年度予算案

一般会計：例年同様、同門会費として 60 万円と、20 周年記念特別企画の開催に伴い、参加費 70

万円（参加費 7,000 円×100 名）と特別会計からの繰越金 50 万円、計 180 万円を予定していることが報告された。支出については、例年と同様の項目に加え、20 周年記念特別企画の運営に伴う支出を挙げていることが報告された。

特別会計：収入については、一般会計からの繰り越し金の予定はない。支出については 20 周年記念特別企画の開催に伴い、50 万円を一般会計に繰り越すことが報告された。

上記の予算案について報告が行われ、承認された。

その他

会則の変更について

会則に、本会の設立年月日、事務局設置場所が明文化されていないため、下記について追記する必要があることが報告された。

- ・本会の設立年月日：本会の設立は平成 10 年 4 月 1 日である
- ・事務局設置場所：本会の事務局は理事会の定める場所におく

上記の会則の変更内容について報告が行われ、承認された。

4. 平成 29 年度事業計画

1) 事務局：

- ① 会員動向の把握(正会員 580 名、準会員 76 名、合計 656 名)

正会員 (580 名)

1 期 17 名、2 期 14 名、3 期 22 名、4 期 21 名、5 期 17 名、6 期 22 名、7 期 17 名、8 期 20 名、9 期 21 名、10 期 21 名、11 期 16 名、12 期 20 名、13 期 20 名、14 期 20 名、15 期 16 名、16 期 22 名、17 期 19 名 (医療短大：325 名)

保 1 期 18 名、保 2 期 21 名、保 3 期 21 名、保 4 期 20 名、保 5 期 18 名、保 6 期 18 名、保 7 期 21 名、保 8 期 20 名、保 9 期 15 名、保 10 期 18 名、保 11 期 18 名、保 12 期 18 名 (保健学科：226 名)

院生 1 期 5 名、院生 2 期 8 名、院生 3 期 1 名、院生 4 期 2 名、院生 5 期 4 名、院生 6 期 1 名、院生 7 期 5 名、院生 8 期 2 名、院生 9 期 0 名、院生 10 期 1 名 (院生：29)

準会員 (76 名)

保 13 期 17 名、保 14 期 17 名、保 15 期 19 名、保 16 期 21 名

院生 11 期 1 名、院生 12 期 1 名、

- ② 理事会の開催
③ 総会の開催
④ 医学部保健学科 16 期生への入会案内業務(パンフレットの作成等)

2) 学術部：平成 29 年度卒後セミナー (20 周年特別企画) 開催

本年度は 20 周年記念の特別企画を計画している。日時は平成 30 年 2 月 10 日 16 時～18 時に決定している。内容としては、会長含め、各分野で活躍している同門会会員から 6 名程度に各分野における理学療法の現状と将来像についてリレー講演をしてもらう予定である。演者の候補としては、今後詳細に決定していく。その他、20 周年記念講演会には、来賓 (理学療法学専攻 OB、長崎県士会、臨床実習指導者、OT 同門会長) も招待する予定である。

3) 厚生部：平成 29 年度懇親会（20 周年特別企画後のパーティー）の開催を予定している。その際は、場所は、長崎市宝町のザ・ホテル長崎で行う予定である。余興等の内容も今後詳細を決定していく。その他、来年度新入生用の入学記念品（USB メモリー）の作製を予定している。

4) 広報部

① ニュース担当：同門会ニュース第 21 号の発行

下記の内容で各会員にニュース原稿を依頼する予定であることが報告された。

巻頭言：俵祐一 先生（医短 10 期）

特別寄稿：小路永知寿 先生（保 8 期）「第 1 回長崎県がんリハビリテーション研修会に参加して」

学会報告：福島卓矢 先生（保 5 期） 「第 22 回日本緩和医療学会学術大会」

セミナー報告：田中なつみ 先生（保 11 期） 「平成 28 年度卒後セミナーに参加して」

② マルチメディア担当：同門会ホームページの管理・運営及びコンテンツの更新等

HP 作成ソフトを利用して更新作業にあたり、スマートフォン対応も可能で、意見やコメントを書き込めるような HP を作成することとなった。その他、更新の頻度も上げていくこととなった。

5) 機関誌編集部：理学療法探求第 20 巻の発行

執筆者に、原稿を早め書いてもらうようにしていくこととなった。

5. 平成 28 年度決算報告（別紙）

平成 28 年度の一般会計収支としては、-12,394 円であった。特別会計は、熊本地震の義援金の支出があり、-300,505 円となった。

6. 平成 29 年度予算案（別紙）

平成 29 年度の予算としては、本年度開催される 20 周年記念特別企画、ならびにパーティーに関連して、特別会計より、500,000 を一般会計に繰り越すこととしている。

7. 平成 29 年度会計報告

平成 29 年 4 月 19 日現在、11 名分の同門会費の納入があることが報告された。

<一般会計>

【収入の部】

同門会費 330,000 (11 名分)

合計 330,000

【支出の部】

合計 0

総残高 1,551,707

<特別会計>

【収入の部】

合計 0

【支出の部】

合計 0

総残高 2,200,848

8. その他

1) 平成 28 年度同門会卒後セミナーアンケート結果（別紙）

文責 片岡 英樹

平成 29 年度 執行部・理事・各期代表者

執行部			
役	名前	所属	卒業期
会長(理事)	中野 治郎	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	9期
副会長(理事)	平瀬 達哉	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	13期
監事	田中 貴子	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	5期
監事	川副 巧成	クローバー	7期
会計(理事)	渋谷 美帆子	長崎記念病院	保4期
書記(理事)	矢野 雄大	長崎大学病院	保3期
書記(理事)	小路永 知寿	原爆病院	保8期
事務局長	片岡 英樹	長崎記念病院	14期
学術部長	坂本 淳哉	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	16期
厚生部長	濱上 陽平	十善会病院	保4期
広報部長	石井 瞬	長崎大学病院	保1期
機関紙編集部長	本田 祐一郎	長崎大学病院	保4期

各期代表			
卒業期	氏名	所属	担当
1期	池山 睦子	光晴会病院	
2期	沖田 実	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	
3期	池田 章子	長崎三菱病院	
4期	松本 真一郎	こころ医療福祉専門学校	
5期	田中 貴子	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	監事
6期	原田 直樹	長崎北病院	
7期	川副 巧成	クローバー	監事
8期	古川 裕	上戸町病院	
9期	中野 治郎	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	理事・会長
10期	俵 祐一	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	理事
11期	松尾 亜弓	池田整形外科	
12期	大石 麻衣子		
13期	平瀬 達哉	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	理事・副会長
14期	片岡 英樹	長崎記念病院	事務局長
15期	中村真須美	重工記念病院	
16期	坂本 淳哉	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科	学術部長
17期	濱本 寿治	百合野病院	
保1期	石井 瞬	長崎大学病院	理事
保2期	城谷 武明	三原台病院	
保3期	矢野 雄大	長崎大学病院	理事・書記
保4期	渋谷 美帆子	長崎記念病院	理事・会計
保5期	田中 陽理	長崎記念病院	理事
保6期	大賀 智史	済生会長崎病院	理事
保7期	古賀 彩佳	原爆病院	理事
保8期	小路永 知寿	原爆病院	理事・書記
保9期	山下 はるか	長崎呼吸器リハビリクリニック	
保10期	松崎 敏朗	原爆病院	
保11期	荒木 奈都子	長崎みなとメディカルセンター市民病院	
保12期	吉野 友恵		

平成28年度会計報告および平成29年度予算案（H29.3.31現在）

平成二十八年
度
会
計
報
告

一
般
会
計

【収入の部】

項目	予算	備考
同門会費	600,000	701,000 会員25名
メディカルオンライン		8,080
医学中央雑誌		0
卒後セミナー参加費	150,000	110,000 会員52名 準会員7名 非会員2名
預金利息		22
特別会計からの繰越金	0	0
総合計	750,000	819,102

【支出の部】

項目	予算	備考
印刷代	300,000	351,216
消耗品	13,500	17,379
通信運搬費	120,000	149,045
講師謝金	80,000	100,000
旅費交通費	100,000	105,150
施設使用料	0	0
食料費	30,000	32,892
雑費	15,000	2,883
報償費	66,500	64,000
設備費	25,000	8,931
特別会計への繰越金	0	0
総合計	750,000	831,496

【収支】

項目	予算	
前年度残高	1,234,101	1,234,101
今年度収入	750,000	819,102
今年度支出	750,000	831,496
収支	0	-12,394
総残高	1,234,101	1,221,707

特
別
会
計

【収入の部】

項目	予算	備考
一般会計からの繰越金	0	0
預金利息		35
総合計	0	35

【支出の部】

項目	予算	備考
一般会計への繰越金	0	0
熊本地震への義援金	0	300,540
総合計	0	300,540

【収支】

項目	予算	
前年度残高	2,501,353	2,501,353
今年度収入	0	35
今年度支出	0	300,540
収支	0	-300,505
総残高	2,501,353	2,200,848

平
成
二
十
九
年
度

一
般
会
計

【収入の部】

項目	予算案
同門会費	600,000
卒後セミナー参加費	700,000
特別会計からの繰越金	500,000
総合計	1,800,000

【支出の部】

項目	予算案
印刷代	300,000
消耗品	13,500
通信運搬費	120,000
講師謝金	50,000
旅費交通費	120,000
施設使用料	0
食料費	30,000
雑費	15,000
報償費	66,500
設備費	25,000
特別会計への繰越金	0
同門会20周年記念行事 関連費用	1,060,000
総合計	1,800,000

【収支】

項目	予算案
前年度残高	1,221,707
今年度収入	1,800,000
今年度支出	1,800,000
収支	0
総残高	1,221,707

特
別
会
計

【収入の部】

項目	予算案	備考
一般会計からの繰越金	0	
総合計	0	

【支出の部】

項目	予算案	備考
一般会計への繰越金	500,000	
総合計	500,000	

【収支】

項目	
前年度残高	2,200,848
今年度収入	0
今年度支出	500,000
収支	-500,000
総残高	1,700,848

<平成 28 年度長崎大学理学療法学同門会アンケート>

アンケート総数:15			
	男性	女性	総数
医短1～6期	0	0	0
医短7～12期	0	2	2
医短13～17期	2	1	3
保健1～5期	0	2	2
保健6～10期	3	3	6
保健11～14期	0	1	1
準会員	1	0	1

●本日のセミナーはいかがでしたか？					
非常に良かった	やや良かった	普通	あまり良くなかった	全くよくなかった	記載なし
2					
2	1				
1	1				
5	1				
1					
	1				

●本日のセミナーはいかがでしたか？		非常に良かった	やや良かった
医短1～6期			
医短7～12期	<ul style="list-style-type: none"> ・最先端の研究紹介やフレイルについて詳細に知ることができたため。 ・身体的・認知的・社会的フレイルについて勉強になりました。ありがとうございました。 		
医短13～17期	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回ですが、著名な方の講演を聴くことができるため。 ・高齢者に対するリハ支援、PT評価介入だけではなく、多職種共働の重要性を改めて考えることができた。 		・フレイルという言葉を初めて知り、概念を知ることができました。
保健1～5期	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、取り組もうと考えていることへのヒントを多く得られました。 ・現在の職場で大事な視点に気づきました。 		
保健6～10期	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の病院でもフレイルチェックや介護予防の方面で地域への介入が進んできているところで、今回、他の病院、各フェーズにおける取り組みや考え方をきくことができたので良かったと思います。 ・現在臨床で行っている認知症予防が意味があるものか否かを再検討する機会、そのための知見を得ることができたため。 ・高齢者を対象にリハをすることが多く、認知機能の低下によって自宅復帰が困難になったり、ADLが低下したりして介助を要することがあるから。 		・地域の高齢者の実態について理解できた。よりレベルの低い方の社会参加の部分が知りたい。
保健11～14期	<ul style="list-style-type: none"> ・非常に興味深い内容で今後の臨床にも活かしていきたいと思いました。 		
準会員			フレイルのとらえ方、具体的な介入方法、考え方を聴けたこと

●同門会卒後セミナーにて今後取り上げてほしいテーマ		
医短1～6期		
医短7～12期		
医短13～17期	・チームアプローチによる全人的復権の支援とは？	<ul style="list-style-type: none"> ・何かに特徴をもったリハビリを行っている県内の病院の紹介。例えばうちの病院は足底板に力をいれていて、こういう取り組みをしているなど。 ・心疾患後生活期においてのリハビリ強度の決め方など、医療からの情報が少ないので困っている。 ・リハビリ栄養について ・シーティング ・食事介助姿勢
保健1～5期		
保健6～10期		・PTの質の向上
保健11～14期	・リハビリ以外での病棟での生活で患者さんのADLなどを上げるための有効な取り組み	
準会員		高齢者の心理面へのアプローチ、特徴、行動変容をどのように変えていくか(心理学の分野)
●同門会に企画してほしいイベント		
医短1～6期		
医短7～12期	・学会などであるような自由集合、興味のある分野に自由に参加でき意見交換ができる場があるとよいと思う。	
医短13～17期	<ul style="list-style-type: none"> ・学年(期)毎に企画を立案する。 ・理学療法塾、宿泊込みの実技研修 	
保健1～5期		
保健6～10期		
保健11～14期		
準会員		
●その他、同門会に対するご意見ご要望		
医短1～6期		
医短7～12期	・運営ありがとうございます。	
医短13～17期	・会員が増えており、顔がわからなくなっているため、20周年イベントはよい機会になると思います。スーツかケーシーに着けられるようなバッジなんかいかがでしょう。	
保健1～5期		
保健6～10期	・非常に良い機会となりました。ありがとうございました。	